

★言語理解とコミュニケーション研究会 (NLC)

専門委員長 榊 剛史 副委員長 吉田光男・嶋田和孝

幹事 渡辺靖彦・東中竜一郎 幹事補佐 小早川 健・坂地泰紀

★音声研究会 (SP)

専門委員長 山下洋一 副委員長 李 晃伸

幹事 南條浩輝・坂野秀樹 幹事補佐 郡山知樹・小橋川 哲

◎本研究会は NLC 研究会と SP 研究会の併催です。研究会資料は各研究会ごとに発行されます。

◎本研究会は参加費が必要になります。

ISS の技報完全電子化研究会に関する御案内ページ

https://www.ieice.org/iss/jpn/notice/e_gihou.html

日時 12月10日(月) 9:55~17:45

11日(火) 9:00~17:30

12日(水) 10:00~18:05

会場 早稲田大学西早稲田キャンパス 55号館 N棟 1階大会議室(新宿区大久保3-4-1. 東京メトロ副都心線; 西早稲田駅に直結. JR山手線/西武新宿線; 高田馬場駅から徒歩15分. <https://www.waseda.jp/top/access/nishiwaseda-campus> TEL [03] 3203-4468 俵 直弘)

議題 第5回自然言語処理シンポジウム&第20回音声言語シンポジウム

音声言語シンポジウム

10日午前 セッション1 音声認識

1. 部分文字再帰的ニューラルネットを使った end-to-end 音声認識の仮説修正

太刀岡勇気(デンソーアイティラボラトリ)

2. End-to-End 音声合成を用いた単語単位 End-to-End 音声認識のデータ拡張

○上乃 聖・三村正人・稲熊寛文・坂井信輔・河原達也(京大)

3. Feature Transfer Learning for Wav2Text Sequence-to-Sequence ASR

○Tjandra Andros・Sakti Sakriani・Satoshi Nakamura (NAIST/RIKEN)

セッション2 感情認識・音声コミュニケーション

4. 母語話者シャドーイングに基づく可解性自動計測及び回帰分析による高精度化

井上雄介・○柊島 優・齋藤大輔・峯松信明(東大)

5. 日韓混合感情音声からの1次元畳み込み双方向 LSTM を用いた感情推定 ○坂口巧一・加藤昇平(名工大)

10日午後 オーガナイズドセッション(13:15~)

SP-6. [招待講演] 音声認識の方法論の変遷と展望 河原達也(京大)

ポスターセッション

7. 音声中の検索語検出における Web 検索と Word Vector を用いたリスコアリング方式

○丹治 遥・小嶋和徳(岩手県立大)・李 時旭(産総研)・南條浩輝(京大)・伊藤慶明(岩手県立大)

8. 条件付き敵対的生成ネットワークを用いたデータ拡張による対話行為分類法の検討

○河野誠也(奈良先端大)・吉野幸一郎(奈良先端大/科学技術振興機構)・中村 哲(奈良先端大)

9. 音声中の検索語検出におけるドキュメントの最尤系列化と複数の深層学習モデルによる検索時間・精度の改善

○金子大祐・小嶋和徳(岩手県立大)・李 時旭(産総研)・伊藤慶明(岩手県立大)

10. 対話音声合成のための CRF による日本語東京方言のアクセント結合推定 ○服部 充・狩野芳伸(静岡大)

11. Improving the audio visual scene-aware dialog system in DSTC7 by using attentional multimodal fusion and MMI objective ○Wang Wenbo・Zhuang Bairong・Takahiro Shinozaki (Tokyo Inst. of Tech.)

12. RNN 言語モデルのためのドメイン属性情報を用いたゼロショット学習

○芦川博人・森岡 幹・俵 直弘(早大)・小川厚徳・岩田具治(NTT)・小林哲則・小川哲司(早大)

13. i-vector/PLDA に基づく話者照合による非線形帯域拡張法の評価

○上西遼大・塩田さやか・貴家仁志(首都大東京)

14. スパース性に着眼した Posteriorgram のコンパクト化と DTW 発話比較における効果

○田中公啓・柊島 優・齋藤大輔・峯松信明(東大)

15. Influence of content variations on native speakers' fluency of shadowing

Trisitichoke Tasavat・○Shintaro Ando・Yusuke Inoue・Daisuke Saito・Nobuaki Minematsu (Univ. of Tokyo)

16. Automatic Prediction of Symbolic and Sentence-Level Prosody in English for Development of a Reading Tutor

○Zhao Xinyi・Nobuaki Minematsu・Daisuke Saito (Univ. of Tokyo)

セッション3 音声合成

17. 音声分析変換合成法 STRAIGHT の再構築について 河原英紀 (和歌山大)

SP-18. 遺伝的アルゴリズムと藤崎モデルを用いる音声の分析と合成

○高良富夫 (琉球大)・衛藤凌一 (国際システム)

SP-19. 読み仮名と韻律記号を入力とする日本語 end-to-end 音声合成の音質評価

○栗原 清・清山信正・熊野 正・今井 篤 (NHK)

20. モーメントマッチングに基づく DNN 合成歌声のランダム変調ポストフィルタとニューラルダブルトラックへの応用 ○田丸浩気・齋藤佑樹・高道慎之介 (東大)・郡山知樹 (東工大)・猿渡 洋 (東大)

11日午前 セッション4 単語獲得

1. Using Functional Load for Optimizing DPGMM based Zero Resource Sub-word Unit Discovery

○Wu Bin (NAIST)・Sakti Sakriani (NAIST/RIKEN)・Zhang Jinsong (Beijing Language and Culture Univ.)・Satoshi Nakamura (NAIST/RIKEN)

2. マルチゲート GRU ユニットを用いた 2D-RNN による End-to-End 始末端フリー単語検出

○田中智宏・篠崎隆宏 (東工大)

オーガナイズドセッション

3. [招待講演] マイクロホンアレイに基づく音響信号処理とその実用化 ○戸上真人 (LINE)・川口洋平 (日立)

4. [招待講演] 未定 Zen Heiga (Google Brain)

◎学生ポスター賞表彰

自然言語処理シンポジウム

11日午後 招待講演

NLC-1. [招待講演] DeepLearning と科学計算環境 ○中山浩太郎 (東大/NABLAS)

機械翻訳・文法誤り訂正

NLC-2. 単語分散表現を用いた Earth Mover's Distance と文長の違いに基づく類似度による対訳文の自動抽出

○田上 諒・越前谷 博 (北海学園大)・荒木健治 (北大)

3. 双方向の逆翻訳を利用したニューラル機械翻訳の教師なし適応の検討

秋葉友良・塚田 元・○森田知熙 (豊橋技科大)

4. 低頻度語学習手法を用いた Convolutional Encoder-Decoder モデルによる文法誤り訂正

○町田 翔・藤田和成・延澤志保・荒井秀一 (東京都市大)

深層学習

5. 大規模格フレームによる解析候補削減を用いたニューラルネットゼロ照応解析

○山城颯太・西川 仁・徳永健伸 (東工大)

6. Very Deep CNN による文書分類におけるトピック分布を用いた事前学習 ○守屋 俊・岡本千尋 (東京工科大)

7. 係り受け誤り埋め込み表現のクラスタリングによるドメイン適応の効果

○原 拓也・松崎拓也・佐藤理史 (名大)

12日午前 言語処理応用 I

1. 災害時避難支援のための Twitter からの現在地周辺情報の抽出

○浅沼爽汰・藤田和成・田村亮介・白石絵里奈・白井聡一・町田 翔・延澤志保 (東京都市大)

2. 機械読解精度向上のための英文読解問題データの分析

○藤田和成・浅沼爽汰・田村亮介・坂井優介・町田 翔・延澤志保 (東京都市大)

3. BLEU を利用した有害表現判定手法の評価と精緻化についての考察

○荒田真輝・榊井文人・プタシンスキ ミハウ (北見工大)

NLC-4. 罹患者への定型的応答を利用したツイート罹患判定のデータ拡張 ○浅川玲音・秋葉友良 (豊橋技科大)

12日午後 国際会議報告

NLC-5. [依頼講演] 国際会議 CoNLL2018 参加報告 齊藤いつみ (NTT)

6. [依頼講演] 国際会議 EMNLP2018 参加報告 大内啓樹 (理研/東北大)

言語解析

7. 外界一人称と二人称を考慮する日本語述語項構造解析の分野適応 ○珊瑚彩主紀・西川 仁・徳永健伸 (東工大)

8. 文情報の活用と階層構造に着目した固有表現ラベル推定手法

○白水優太郎・藤本 拓・吉村 健・磯田佳徳 (NTT ドコモ)

9. Wikidata からの遠距離教師あり学習に基づく大規模多言語関係知識獲得

○松田耕史・鈴木正敏 (東北大)・乾 健太郎 (東北大/理研)

言語処理応用 II

10. テキストに基づく単一オブジェクト画像生成における描画の高品質化

○野本英梨子・Chu!! Chenhui・荒瀬由紀 (阪大)

11. 複数言語複数タスクを扱う発話意図推定モデリングのための敵対的学習の検討

○増村 亮・篠原雄介・東中竜一郎・青野裕司 (NTT)

NLC-12. 参照データとidfを利用した事前採点不要な小論文評価手法

○大野雅幸・竹内孔一・泉仁宏太・小畑友也・田口雅弘・稲田佳彦・飯塚誠也・阿保達彦・上田 均 (岡山大)

NLC-13. ニューラル見出し生成システムを用いたニュース編集支援ツールの導入

○村尾一真 (ヤフー)・小林隼人 (ヤフー/理研)・谷塚太一・小林 健・増山毅司・日暮 立・田淵義宗 (ヤフー)

◆NLC：情報処理学会；自然言語処理研究会連催。

SP：情報処理学会；音声言語情報処理研究会連催。日本音響学会；音声研究会共催。IEEE Signal Processing Society Tokyo Joint Chapter 協賛

☆SP 研究会今後の予定 [] 内発表申込締切日

2019年3月 未定〔未定〕テーマ：応用／電気音響，信号処理，音声，一般

【発表申込先】 下記研究会発表申込システムからお申込み下さい。

<https://www.ieice.org/jpn/ken/kenmoushikomi.html>